

三島市新規最終処分場 基本計画(案)に係る説明会 資料

日時：令和3年12月25日(土) 午後6時～

場所：加茂集会所



目次

1. はじめに
2. 基本方針
3. 基本構造
4. 施設配置
5. 各施設計画
6. 工程計画



1. はじめに

三島市の最終処分場

- 第1埋立地：埋立終了
- 第2埋立地：埋立終了
- 第3埋立地：埋立中

第3埋立地は容量がひっ迫しており、平成22年度以降埋立廃棄物の一部を外部搬出しています。



平成24年度～令和元年度候補地選定を実施

賀茂之洞地区を建設候補地として決定

計画諸元は以下のとおりです。

- 1.埋立面積：7,000 m²
- 2.埋立容量：53,100 m³
- 3.埋立期間：15年程度
- 4.型式：一般廃棄物最終処分場
- 5.構造形式：被覆型埋立地（クローズド型）
- 6.埋立対象物：焼却灰、不燃物、災害廃棄物



2. 基本方針

基本計画では、候補地選定での方針を踏まえた基本方針を基に施設を計画します。

環境への負荷を最小限に抑える施設

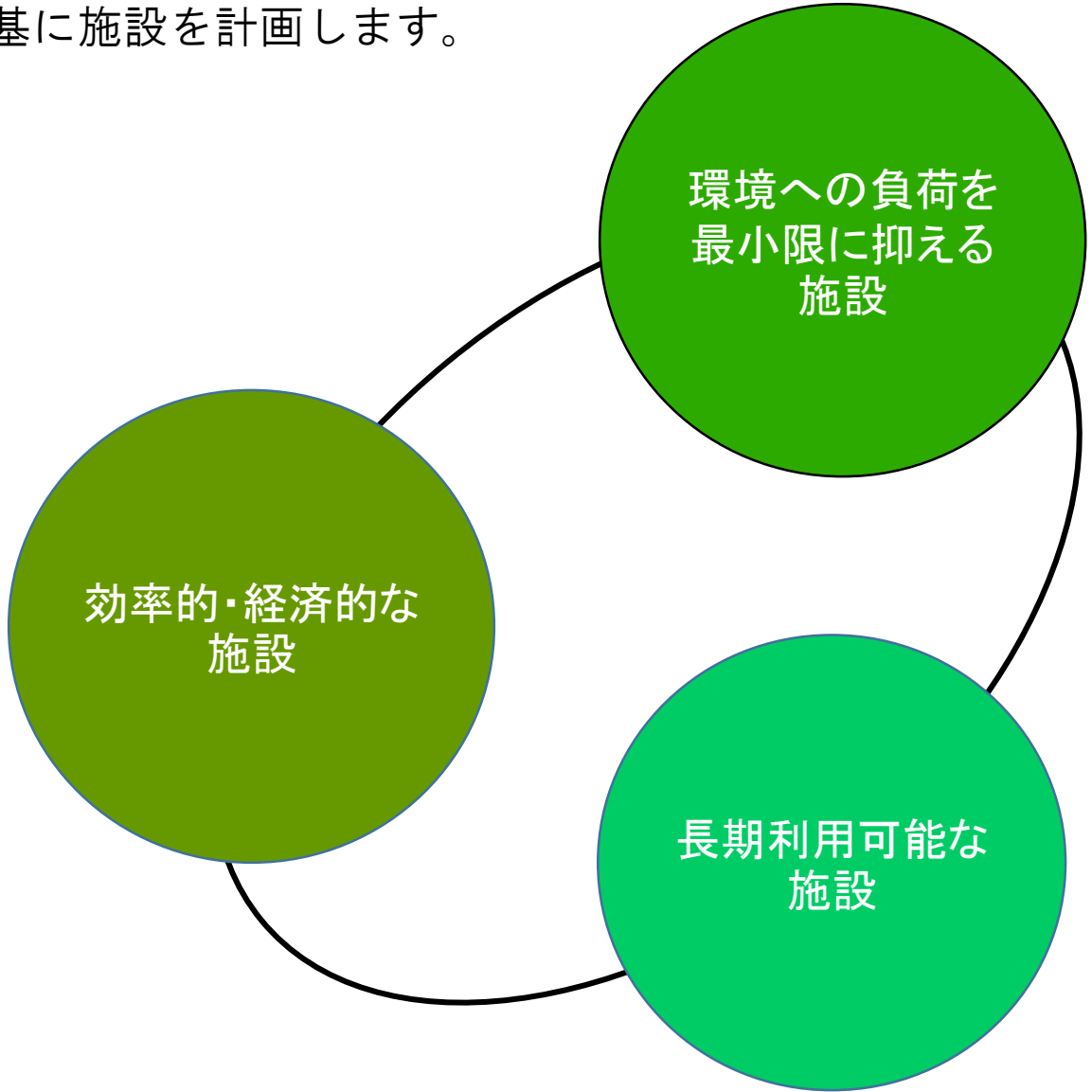
- ・水環境やそのほかの自然環境への負荷を最小限にする。
- ・最新動向を取り入れる。
- ・多重安全システム（フェールセーフやバックアップ機能）の考え方を取り入れる。
- ・生活環境への配慮。

効率的・経済的な施設

- ・人口減少社会の中、より効率的かつ経済的な施設整備。

長期利用可能な施設

- ・近年の災害等へ配慮した安心安全な施設整備。

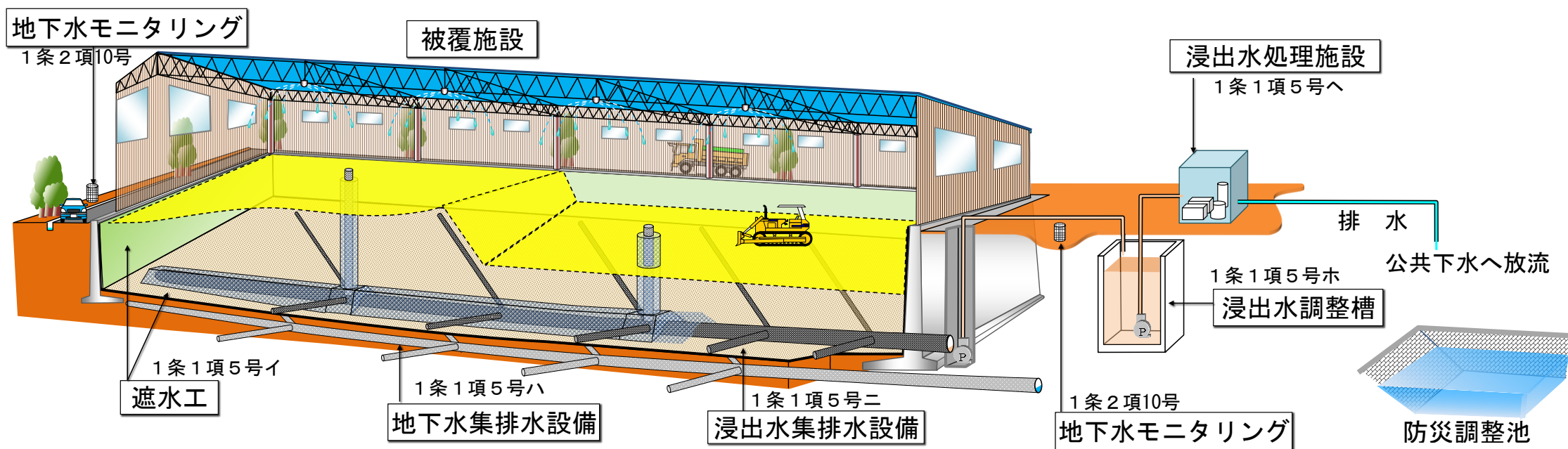


3. 基本構造

構造形式は被覆型埋立地（クローズド型）として整備を進めます。

被覆施設は、廃棄物の飛散防止や雨水の流入防止、埋立ガスの拡散を防止する機能を有します。

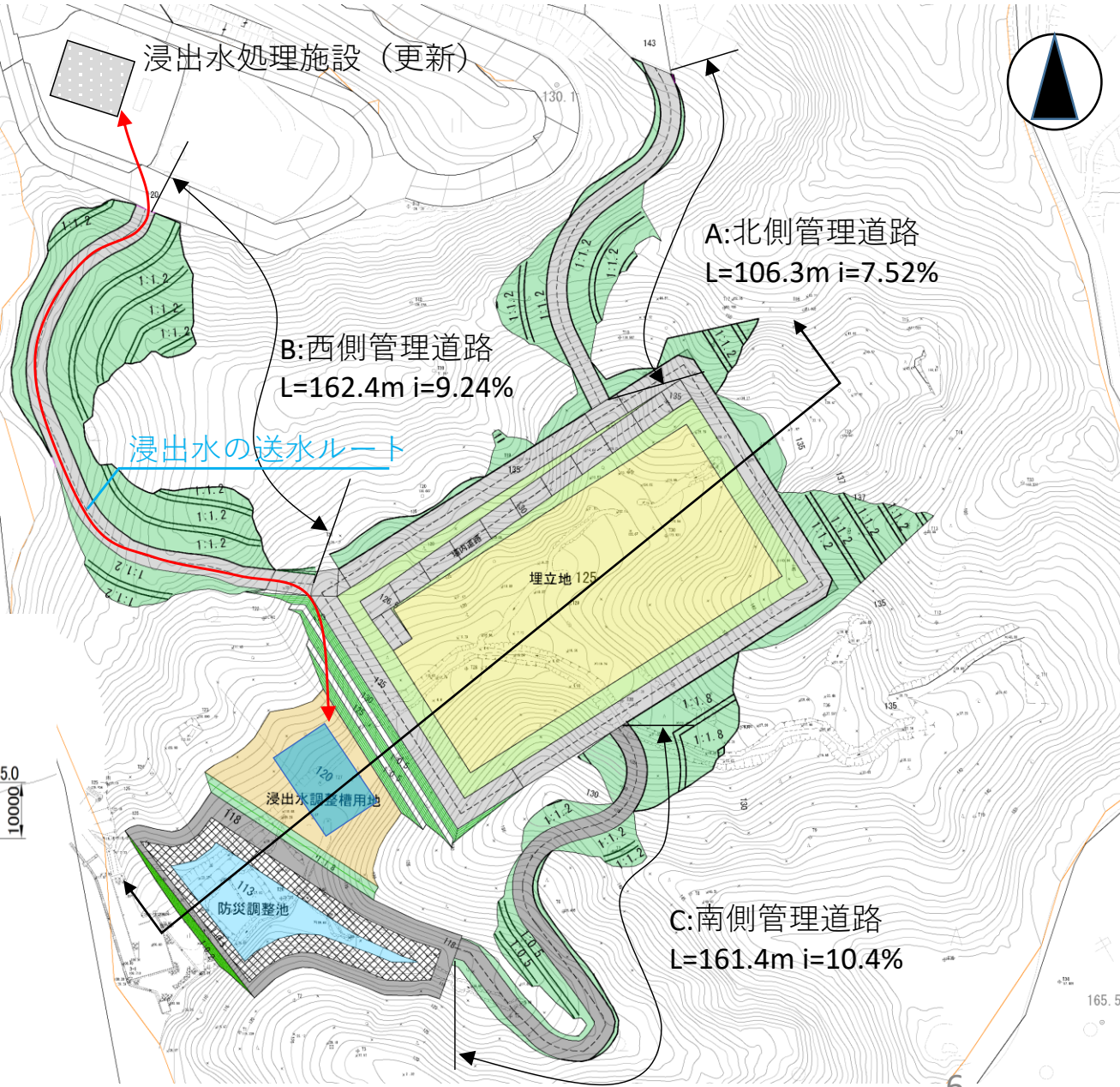
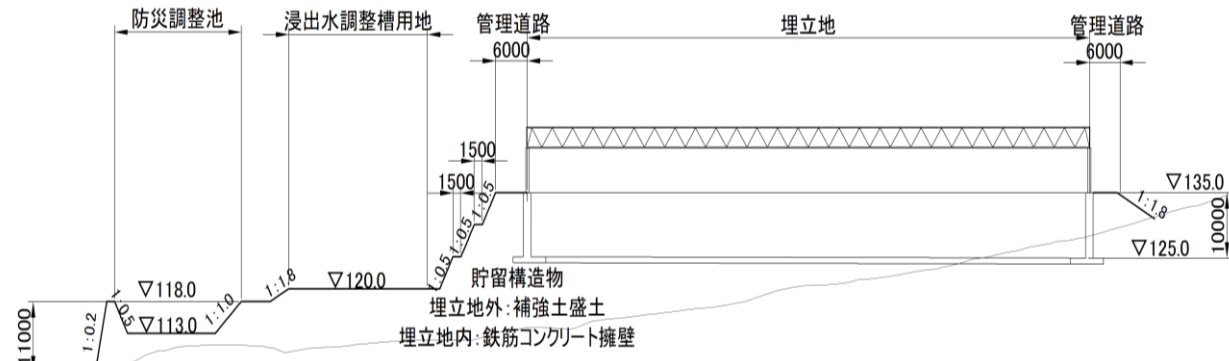
また、被覆施設により、降雨などの気象条件の影響を受けず、散水により浸出水（廃棄物と接触して生じた汚水）の量をコントロールすることができ、浸出水処理施設を縮小できるため、浸出水処理施設の建設費や維持管理費が安価となります。



4. 施設配置

施設配置のポイント

- ① 北側に搬入用道路を配置 (A:北側管理道路)
- ② 西側に管理用・緊急時の道路を配置 (B:西側管理道路)
- ③ 南側に施設管理用の道路を配置 (C:南側管理道路)
- ④ 下流域の安全のため、防災調整池を配置
- ⑤ 浸出水はポンプ圧送により更新する浸出水処理施設へ。



5. 各施設計画

本計画における各施設計画のポイントは以下のとおりです。

埋立処分容量：53,100 m³

- ・第2期住むなら三島・総合戦略～まち・ひと・しごと創生～（令和3年3月）
- ・三島市一般廃棄物処理基本計画（平成31年3月）
- ・三島市災害廃棄物処理計画（平成29年3月）
- ・一般廃棄物処理の実績データ等

貯留構造物

【目的】 廃棄物を安全に貯留するために設置する施設。

【構造】 本計画では地震動を考慮した構造を有する鉄筋コンクリート擁壁構造を想定します。

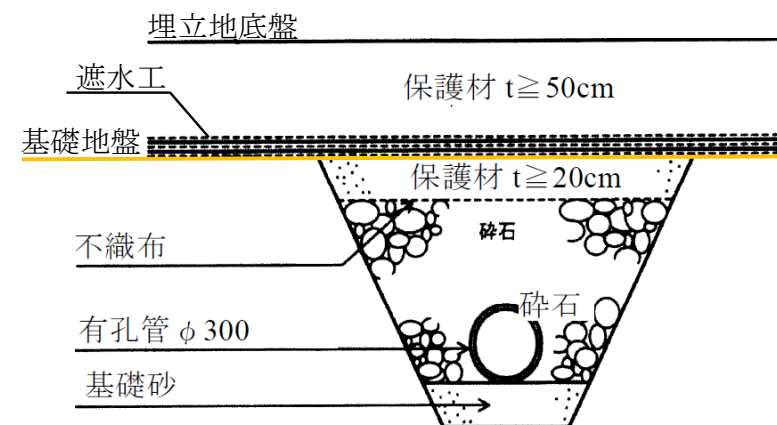
地下水集排水設備

【目的】

地下水が上昇することで生じる揚圧力から、遮水工を保護するために、設置する施設です。

【構造】

埋立地の基礎地盤の地下に埋設します。



5. 各施設計画

本計画における各施設計画のポイントは以下の通りです。

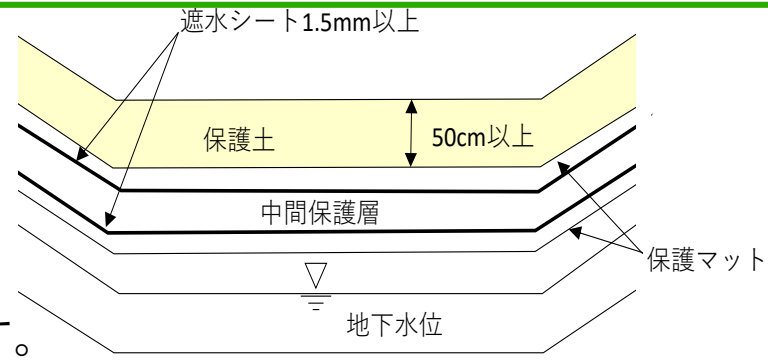
遮水工

【目的】

浸出水が埋立地外に漏れだすことを防止することを目的に設置する施設です。環境への負荷低減に直結します。

【構造】

国の基準に従って、実績や施工性の観点から二重遮水シート構造とします。



多重安全システム

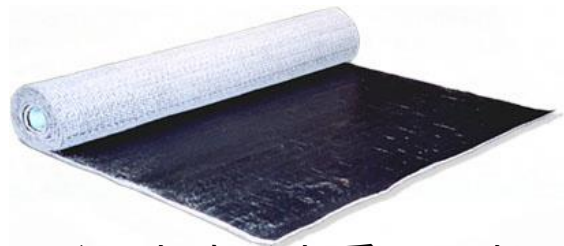
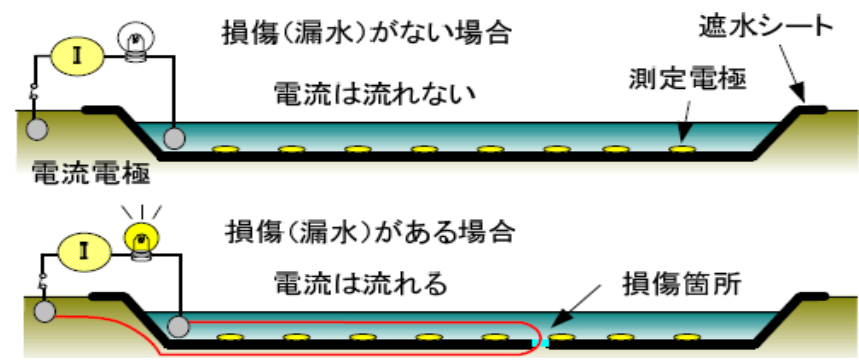
【目的】

遮水工のさらなる安全性確保のために設置する施設です。

【構造】

漏水検知システムや自己修復材を設置する事例があります。漏水検知システムは、浸出水の流出を監視する機能を有し、自己修復材は材質の膨潤性によって、上部遮水シートの破損による浸出水の流出を防止します。

本計画においては、自己修復材のベントナイト系マットの設置を検討します。



ベントナイト系マット



高分子系マット

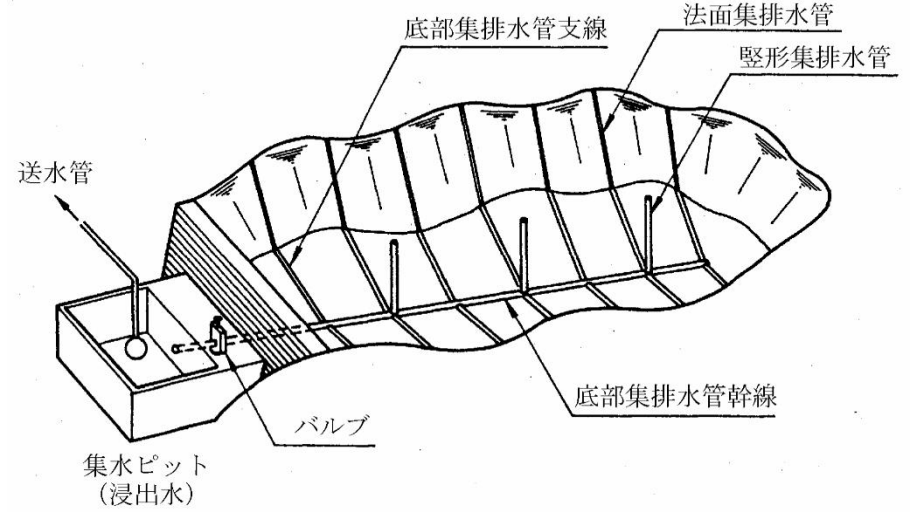
5. 各施設計画

本計画における各施設計画のポイントは以下の通りです。

浸出水集排水設備

【目的】
浸出水を集水し、浸出水処理施設へ導水するための施設です。

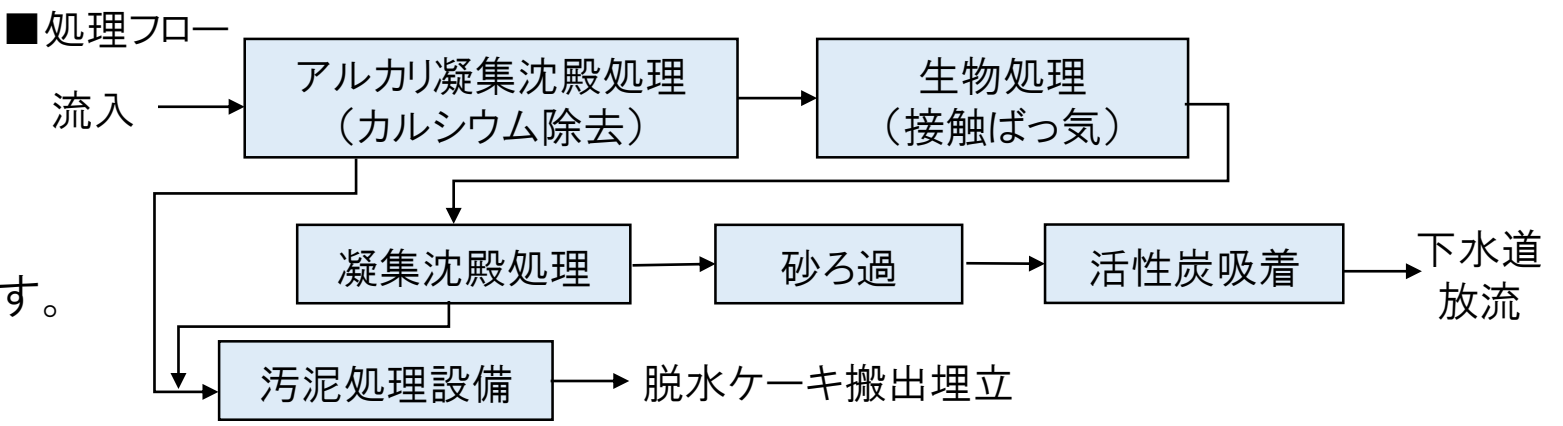
【構造】
縦型集排水管や法面集排水管によって、廃棄物層を早期に安定化させるため、埋立層内部へ空気を供給します。



浸出水処理施設

【目的】
浸出水を浄化するための施設です。

【構造：処理フロー】
処理水は下水道放流を計画しています。
処理フローは右図の通りです。



5. 各施設計画

本計画における各施設計画のポイントは以下の通りです。

浸出水処理施設

【構造：統合処理】

第1埋立地～第3埋立地の浸出水は、本処分場の浸出水とともに、処理を行うため、稼働中の浸出水処理施設を更新します。

- 第1埋立地～第3埋立地

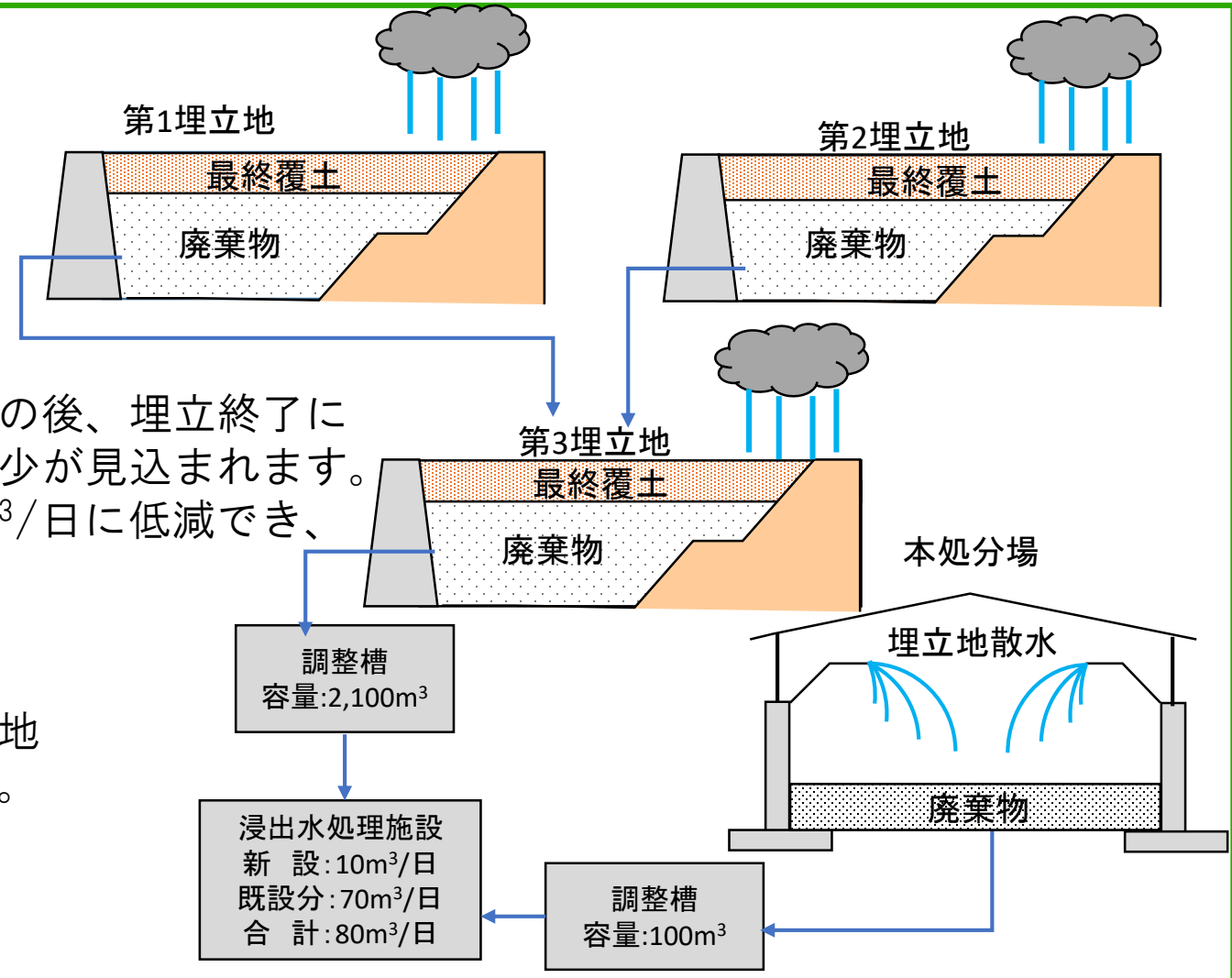
第3埋立地を本処分場の完成まで使用し、その後、埋立終了によって最終覆土を施工するため、処理水量の減少が見込まれます。

現在の浸出水処理能力を120 m³/日から70 m³/日に低減でき、調整槽は、200m³から2,100m³に拡張します。

- 本処分場

被覆施設を有しているため、オープン型埋立地と比較すると、規模を縮小することが可能です。

そのため、浸出水の処理能力を10 m³/日、調整槽は、100m³とします。



5. 各施設計画

本計画における各施設計画のポイントは以下の通りです。

モニタリング施設

【目的】

周辺環境への影響の有無を判断するため、モニタリング施設を設置します。

【構造】

上流・下流部井戸：地下水環境のモニタリングのため、観測井戸を設置し水質を観測します。

監視池：下水放流水質のモニタリングのため、魚類等が生息する様子を常時観測することを検討します。

防災調整池

【目的】 下流域の災害防止のため、防災調整池を設置します。

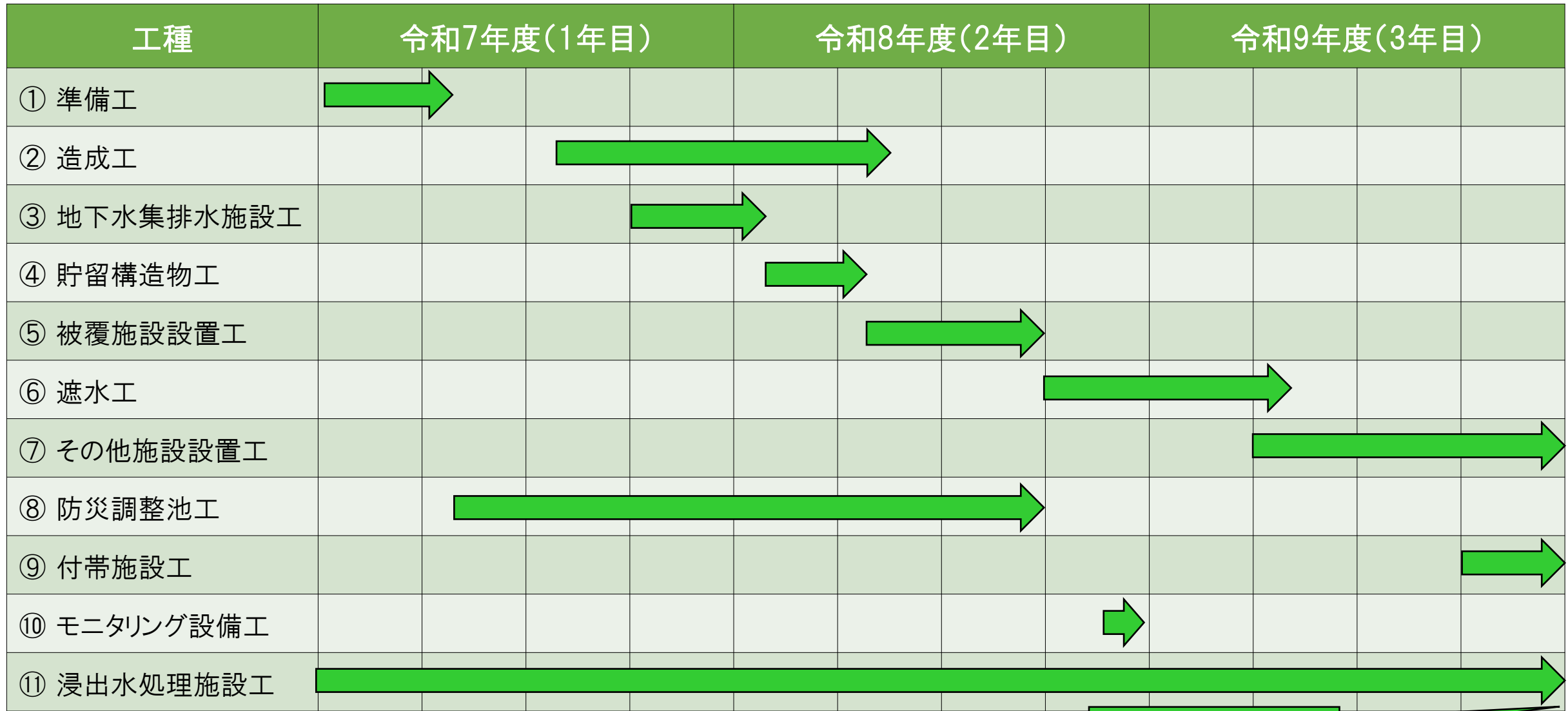
【構造】 基準に準拠し、堤体や放流施設等を設置します。

その他の各施設検討

貯留構造物やその他のコンクリート構造物、被覆施設等に関しては、震度7の大規模地震が発生した場合でも、構造計算上耐えられる耐震構造を検討します

6. 工程計画

本処分場の工程計画の概要を以下に示す。



竣工・供用開始

ご清聴ありがとうございました



せせらぎと緑と活力あふれる幸せ実感都市・三島

三島市

環境市民部 廃棄物対策課 ごみ処理施設整備推進室

〒411-0000 三島市字賀茂之洞4703番地の94

TEL055-971-8993 FAX055-971-8994

E-mail haitai@city.mishima.shizuoka.jp

